

9月10日は「下水道の日」

標語 「水が生き 暮らしも活きる 下水道」

「下水道の日」は1961年（昭和36年）、著しく遅れている日本の下水道の全国的な普及（当時の普及率：6％）を図るため、「全国下水道促進デー」として始まりました。

また、9月10日と定められたのは、下水道の大きな役割の一つである「雨水の排除」を念頭に、台風シーズンである210日を過ぎた220日（立春から数えて）が適当であるとされたことによるものです

それから約40年が経過し、日本における近代下水道の基である旧下水道法が制定された1900年（明治33年）から100年を迎え、その記念行事が行われたことや2001年（平成13年）が21世紀のスタートの年にあたることなどから近年の下水道に対する認識の高まりもあり、親しみのある名称として「下水道の日」に変更されました。

下水道は家庭などから出る汚水をきれいにして川や海に戻すことで、大切な自然環境を守っています。この機会に下水道について考え、次のことに気をつけましょう。

○下水道供用開始区域（下水道が使用できる区域）内で接続がまだの方は、排水設備工事を行ってください。

○下水道の機能が正常に保てるよう、食器に残った油などはふき取ってから洗いましょう。

○台所からの排水が流れるためますには油分が浮いてたまりやすく、そのまま使用し続けると排水管が詰まる原因となりますので、月1回程度、掃除をしてください。